

学生懸賞論文 論文の書き方

CHECK LIST



阪南大学学会



論文の書き方

学生懸賞論文応募にあたって

この冊子は、阪南大学学会が募集する「学生懸賞論文」論文部門の応募チェックポイントをリスト形式で掲載したもので、審査委員会が審査するとき重要視する項目を列挙しています。

テーマ・分野によっては絶対条件にならない項目もありますが、大体これらの項目に基づき審査されると考えていただいて結構です。

論文の体裁および構成、テーマの設定、注記・参考文献の表記など自分でチェックできるポイントを具体的に掲載しています。

論文を作成する際、以下の各項目の□にチェック（✓）を入れて確認してください。

1 … 論文の体裁を備えていますか

- 問題意識を明確にしていますか。
- オリジナリティ（他の論文とは違った自己の見解）を追求していますか。
- 自分の文章と引用した他人の文章とを明確に区別していますか。
- 全体的に文体を統一していますか（語尾が「です・ます」ではなく、「である」となっていますか）。
- 誤字・脱字・変換ミスはありませんか。また、文意が通じますか。
- 論文としての形式になっていますか（単なるデータ・資料の羅列や意味がわかりにくい結論になっていませんか）。
- 不必要な記号（必要でないところに！や？などをつける等）や口語文のような表現を使用していませんか。
- 一般的に使用されている意味以外で「用語」を使用する場合はきちんと定義していますか。

2 … テーマは適切ですか

- テーマが大きすぎませんか。
- タイトルはテーマを反映していますか。

3 … 論文構成が以下のようにになっていますか

はじめに

- 自分の問題意識を述べ、課題（論点）の設定が的確に行われていますか。
- その課題を解明する手順を明らかにしていますか。

本論

- 課題（論点）に関する専門領域について概観・整理していますか。
- 論じる事柄に前提条件がある場合は、きちんと述べられていますか。
- 「はじめに」で述べた問題意識に基づいて、事前に示した手順によって論述できていますか。
- データ・資料などを用いた場合は、論述内容と適合したものとなっていますか。
- 略称や略号などは、初めて出てきたときに正式名称を示していますか。
- 新しい概念・用語の定義をきちんとしていますか。



章・節・項

- 章は、Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、…、節は、1、2、3、…、項は、1)、2)、3)、…で統一する。細目については、(1)、(2)、(3)、①、②、③、a、b、c、などを適宜用いる。

まとめ

- 全体のまとめとしてオリジナリティを持った結論を導いていますか。
- まとめは簡潔に要領よく述べられていますか。
- 「はじめに」で設定した問題点と「本論」「まとめ」との間に互いに矛盾していませんか。
- 謝辞を述べる場合には、きちんと段落を変えていますか。

注・参考文献

- 注を付ける場合、引用部分を「」でくくり注番号を上付きカタカッコにして、論文の末尾に一括して明記していますか。

例1 (本文中)

「人事考課制度は本来『人事制度』の中核的的制度として『昇進・昇格・昇級制度』と密接に関連して運用されてきた」¹⁾とされている。

(末尾)

- 1) 高橋 進『人事と給与こう変わる』研修社, 1995年, 142ページ。
- 2) 坂井昭夫『日本経済摩擦と政策協調』有斐閣, 1991年, 59-60ページ。

例2 上記以外にも「行頭2字下げ」という方法もあります。

■1文字空白 ■■2文字空白

- ゲーテは『ファウスト』の中で、こう記している。
- 生きているものを確認し、それを記述しようとするものは、まず精神を度外視してかかる。
- たとえその時に部分を手に入れたとしても、残念なことにそこには精神的な韌帯となるもの
- が欠けている¹⁾。

- 本文中で論じきれなかった論点に関して補足的に述べる場合、あるいは専門用語の説明を付ける場合にも注記表記していますか。
- 文章を直接引用するのではなく、他人の文章を要約して引用する場合には、なるべく一段落以内にまとめて注記表記していますか。
- 引用文献・参考文献の表記方法は次の通りになっていますか。

a 著書の場合

注番号) 著者名『書名』発行所, 発行年, 該当ページ。

- 1) 平山弘『ブランド価値基盤の転換とブランド再構築』晃洋書房, 2020年, 1-214ページ。

b 雑誌掲載論文の場合

注番号) 著者名「論文名」『雑誌名』巻号, (発行所), 発行年, 該当ページ。

(誌名から発行所が推測できるときは省略してもよい)

- 2) 永田拓治「東晋期における校書事業と晋史編纂」『東洋史論集』47巻, 九州大学文学部東洋史研究会, 2020年, 1-29ページ。

c 編著本所収論文の場合

注番号) 著者名「論文名」(編著者名)『書名』(発行所), 発行年, 該当ページ。
(誌名から編集者・発行所が推測できるときは省略してもよい)

3) 福本賢太「観光対象としての観光資源」谷口知司・福井弘幸編著『ひろがる観光のフィールド』晃洋書房, 2020年, 115-129ページ。

d 新聞の場合

注番号) 執筆者名(あれば)「見出し名」『新聞名』発行年月日(朝・夕刊) ページ。

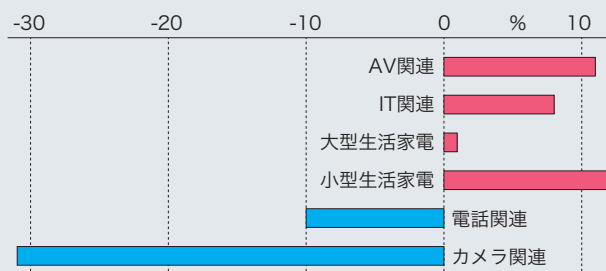
4) 青木慎一「未完の緑色レーザー、半導体で1-2年後実現」『日本経済新聞』2009年5月18日(朝刊) 13ページ。

e 図表の場合

表番号及び見出しは表の上へ(例1)、図番号及び見出しは図の下へつけ(例2)、出所は図表の下部へ明記します。
出所の示し方は、注番号がないだけで、a~dと同じように記します。

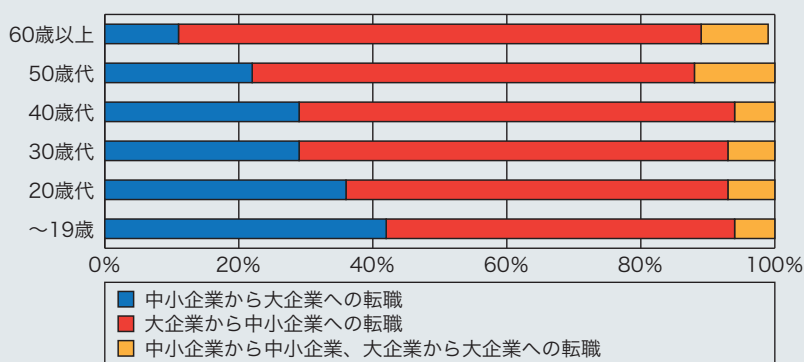
例1 … 他の資料にあるグラフを記載した場合

表1 家電製品分類別の販売金額前年比増減率(2020年)



出所)『日経 MJ』2021年2月10日。

例2 … 他の資料にあるデータを学生自身で加工・修正した場合(例えば統計をもとに学生自身がグラフを作成した)



出所) 中小企業庁編『中小企業白書』各年度版より筆者作成。

図1 年齢別規模間転職状況(製造業)

f ホームページ、テレビ番組、インタビュー等の場合

URL「ホームページ名」(採録日: 年 月 日).
放送局「テレビ番組名」(放送日: 年 月 日).

例

<http://www.hannan-u.ac.jp/>「阪南大学」(採録日: 2021年4月30日).
<http://www.hannan-u.ac.jp/〇〇〇>「阪南大学 教員のページ〇〇〇〇」(採録日: 2021年4月30日).



g 参考文献

参考文献は論文を作成するときに引用、参照等で利用した文献をあらためて一覧にして示すものです。この参考文献における文献の表記方法も上で述べた方法に準じます。

文献をならべる順番は、まず和文献の著者名をアイウエオ順とし、次に欧文献の著者名をアルファベット順とします。また、ホームページは文献の末尾にまとめて表記してください。

例

参考文献

稲田十一編『開発と平和：脆弱国家支援論』有斐閣，2009年。
川北稔編『ウォーラーステイン』講談社メチエ，2001年。
Fukuyama, F., *The End of History and The Last Man*, New York: International Creative Management, 1992 (フクヤマ, F.『歴史の終わり(上・下)』, 渡部昇一訳, 三笠書房, 1992年).
McGrew, A., "Globalization and Global Politics", in Baylis, J. and S. Smith (eds) , *The Globalization and Global Politics*, Oxford University Press, 2005.
<http://www.hannan-u.ac.jp/>「阪南大学」(採録日:2021年4月30日)。
<http://www.jetro.go.jp/>「日本貿易振興会」(採録日:2019年8月31日)。

4 ... 図表・資料

- 自分の論理展開にとって必要かつ適切な図表を使用していますか。
- 孫引き(原資料からではなく、他の論文や文献に引用された部分の引用)ばかりになっていませんか。
- 図表・資料の出典についても、3の **注・参考文献** に準じて出所を明記していますか。

5 ... 形式

応募論文は次の形式を満たしているかどうか必ず確認してください。

アブストラクト(概要)

- アブストラクトは目次・本文(図表・注を含む)・参考文献とは別々にしていますか。
- アブストラクトは1,000字程度で収まっていますか。
- アブストラクトにタイトル・学籍番号・氏名が明記されていますか。

目次

- 目次はきちんと付けていますか。
- 目次はアブストラクト・本文(図表・注を含む)・参考文献とは別々にしていますか。
- 目次は内容を的確に表していますか。
- 目次と本文中の章・節が正しく対応していますか。
- 目次にタイトルが明記されていますか。



理系論文の書き方

理系論文も基本的なチェックポイントは論文の書き方（1-4ページ）と同じですが、章・節・項および「参考文献」の形式が若干異なります。

論文の書き方の各項目と合わせて、以下の□にチェック（✓）を入れて確認してください。

1 ... 章・節・項

章・節・項は、次の通りになっていますか。

章・節・項はアラビア数字を使い、章のあとはピリオドを付け、節の場合はピリオドのあとに続けて表示します。

例 はじめに
1. 遺伝的アルゴリズム (GA) とは
1.1 生物の進化
おわりに

2 ... 注・参考文献

注・参考文献

欧文表記については各指導教員の指示を受けてください。

引用部分に注を付ける場合、注番号を上付きカタカッコにして、論文の末尾に一括して明記していますか。

例 (本文中)

この量子井戸構造の半導体レーザーも取らされた効果は¹⁾、さらに量子細線や量子ドットレーザーで実現される可能性がある²⁾。

(末尾)

1) 安藤幸司 (2011) 『半導体レーザーが一番わかる』技術評論社, pp.18-27.
2) 勝山造 (2009) 「通信用半導体レーザーの開発」『SEIテクニカルレビュー』175, pp.20.

著書・論文・データベース全体を参照している場合、本文中の注番号と参考文献の注番号が合致していますか。

本文中で論じきれなかった論点に関して補足的に述べる場合、あるいは専門用語の説明を付ける場合にも注記表記していますか。

引用文献・参考文献の表記方法は次の通りになっていますか（和欧共通）。

a 著書の場合

注番号) 著者名 (発行年) 『書名』発行所, 該当ページ.

1) 安藤幸司 (2011) 『半導体レーザーが一番わかる』技術評論社, pp.18-27.

b 雑誌掲載論文の場合

注番号) 著者名 (発行年) 「論文名」『雑誌名』巻号, 該当ページ.

2) 勝山造 (2009) 「通信用半導体レーザーの開発」『SEIテクニカルレビュー』175, p.20.

c 学会発表の場合

注番号) 著者名 (発行年) 「論文名」『書名』発行所, 該当ページ.

3) 銅谷賢治 (1987) 「神経回路網における記憶学習」『第32回知能システム講演会発表論文集』pp.1230-1231.
もしくは

3) 銅谷賢治 (1987) <https://www.sice.or.jp/kaishi/ronbun/ron1990/ron9704.html> 「神経回路網における記憶学習」『第32回知能システム講演会発表論文集』（採録日：2021年4月30日）。

d 新聞の場合

注番号) 執筆者名 (あれば) 「見出し名」『新聞名』発行年月日 (朝・夕刊) ページ.

4) 青木慎一 「未完の緑色レーザー、半導体で1-2年後実現」『日本経済新聞』2009年5月18日 (朝刊) p.13.



e 図表の場合

引用した図表がある場合は下部に出所を表記します。その場合の出所の示し方は、注番号がないだけで、a～dと同じように表記します。また、オリジナルデータ・検証結果を示す場合、表は上部に通し番号と見出しを、図は下部に通し番号と見出しを付けます。引用した図表の場合は、論文の書き方3ページ（e. 図表の場合）に準じます。

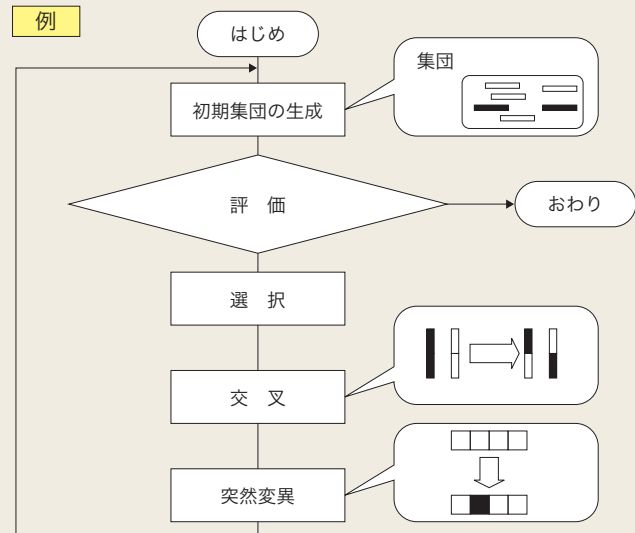


図1 単純GA (SGA) のモデル

f ホームページ、テレビ番組、インタビュー等の場合

URL「ホームページ名」(採録日： 年 月 日).
放送局名「テレビ番組名」(放送日： 年 月 日).

例 <http://www.hannan-u.ac.jp/>「阪南大学」(採録日：2021年4月30日).
<http://www.hannan-u.ac.jp/〇〇〇>「阪南大学 教員のページ〇〇〇〇」(採録日：2021年4月30日).

g 参考文献

参考文献は論文を作成するときに引用、参照等で利用した文献を番号を付けて末尾に一括して示すものです。また、同一文献を本文中で参考にした場合は、同じ番号を付けます。文献を並べる順番は、まず和文献の著者名をアイウエオ順とし、次に欧文献の著者名をアルファベット順とします。必ず本文とは別に添付してください。また、ホームページは文献の末尾にまとめて表記してください。

例 (本文中)

「……。この量子井戸構造の半導体レーザーも取らされた効果は¹⁾、さらに量子細線や量子ドットレーザーで実現される可能性がある²⁾。この研究を先導したのは、……の研究グループであった³⁾。その後、量子ドットレーザーは、……QDレーザーが事業化を行っている⁴⁾。」

(末尾)

参考文献

- 1) 安藤幸司 (2011) 『半導体レーザーが一番わかる』技術評論社。
- 2) 勝山造 (2009) 「通信用半導体レーザーの開発」『SEIテクニカルレビュー』175：19-26。
- 3) 銅谷賢治 (1987) 「神経回路網における記憶学習」『第32回知能システム講演会発表論文集』日本知能システム学会, pp.1230-1231。
- 4) 牧村武志 (2019) 「機械工学的のヒューマンセンシング」『IIP2019 情報・知能・精密機器部門講演会』(https://doi.org/10.1299/jsmeiip.2019.wakate_1)。
- 5) 青木慎一「未完の緑色レーザー、半導体で1-2年後実現」『日本経済新聞』2009年5月18日(朝刊) p.13。
- 6) Coldren, L. A., Corzine, S. W. and Mashanovitch, M. (2012) *Diode Lasers and Photonic Integrated Circuits* (2nd ed.) . Hoboken,N.J.: Wiley (木村達也訳 (2013) 『半導体レーザーとフォトニクス集積回路』オーム社)。
- 7) Cotrell, M. (1995) A Proposal of Stability in Memory Networks, Proc. of 2nd Neural Network Conference, pp.25-27。
- 8) <http://www.hannan-u.ac.jp/〇〇〇>「阪南大学 教員のページ〇〇〇〇」(採録日：2021年4月30日)。

ここで、2) は論文、1) と6) は書籍、3) と4) と7) は学会発表、5) は新聞、8) はWebの表記例である。



研究活動における不正行為に注意！

昨今、研究者による研究活動上の不正行為が多数報道され、学生の皆さんも目にする機会があると思いますが、学生が論文を書く場合も同様の注意が必要です。例えばネットで見つけた他人の文章をコピーして、引用も示さず自分の文章として学生懸賞論文に応募することは「盗作」であり、研究活動上の不正行為にあたります。本学でも、以下の「捏造」「改ざん」及び「盗用」を代表的な研究活動上の不正行為と考えていますので、十分に注意してください。

捏 造

存在しないデータ、研究結果等を作成すること。

例) 実際に調査を行わず、あるいは期待した調査結果が得られなかったため、架空のデータを作成して、その調査結果を自身の論文に使用した。

改ざん

研究資料・機器・過程を変更する操作を行い、データ、研究活動によって得られた結果等を真正でないものに加工すること。

例) 調査結果に思うような結果が得られなかったため、都合の悪い調査データを別の調査で得られたデータに置き換えて発表した。

盗 用

他の研究者のアイディア、分析・解析方法、データ、研究結果、論文又は用語を当該研究者の了解もしくは適切な表示なく流用すること。

例) インターネットで見つけた他人の論文の一部をコピーして、出所を明らかにせず、自身の論文としてそのまま使用した。

悪質な不正行為は、本人が処罰の対象となるだけでなく、指導教員等にも迷惑が及ぶ場合があります。